

美幌町学校運営協議会だより

※E-Mail kyouikug@town.bihoro.hokkaido.jp (学校教育)

※<新設>美幌町ホームページ：教育委員会・小中学校からのお知らせ

令和 3 年度
第 6 号

令和3年12月31日
美幌町教育委員会
コミスクコーディネーター

お知らせ

<美幌町の学校運営協議会連携会>ができました

美幌町の5つの学校には、それぞれ学校運営協議会が設立されています。令和元年の11月から活動を始めてから2年が経過しました。“地域の子は地域で育てる”のモットーに基づいて、地域と学校が協働して“どのような子どもを育てるのか”課題を共有して任命された委員が協議を進めてきました。しかし、学校運営協議会設置間もなく新型コロナ感染が広がり、感染防止のための休校措置が取られ、学校も行事の在り方を再検討して規模縮小、時季変更など行ってきました。

保護者の皆さんも、これまでのように子どもの活動や成長の様子を存分に見ることができなくなり、残念な思いをされてきたことと思います。

コロナ禍では、従来から伝統的に行ってきた教育活動が大きく変わりましたが、子どもの実態を踏まえた課題の解決に向けて活動し、学校が取り組んできたことを評価して成果と課題を明らかにしてきました。一番大きく変化したのは、GIGAスクール構想に基づくICT教育への取り組みではないでしょうか？

今冬休みには、児童生徒に与えられたクロームブック（パソコン）を自宅に持ち帰り、遠隔でも学習をつなぐ取り組みができるようになります。紙と鉛筆が学習のベースであったことは、過去になり、これからの子どもたちは、いかに有効に機器を活用していく能力を身につけていくかが課題となっています。



おめでとう



小学校だね

子どもたちを取り巻く環境が変化した今、**学校の枠を超えて子どもの状況を理解することが必要**と考え、学校運営協議会の委員さんも町民の皆さんも課題となることの情報を共有できるように**連携会を設立**しました。

- ◆こんなことはどうなんだろう（疑問に思うこと）、
 - ◆小学校と中学校取組が違うことに戸惑う【取組の共有】
 - ◆幼稚園や保育園から小学校に入学した時の課題は？【身につけておくこと】
- など協議できる場としたものです。



オンラインでも
おめでとう！



密にならないで
一緒に勉強できる



だんだん難しく
なってきた



パソコンの操作は
どうするの？



※今の急激な社会の変化は、10年後にどんな社会を作っているのでしょうか？

- A | 人が人にとって代わる?? 今、やりたいと思っている仕事はあるの？
- 10年後の子どもが身につけていて欲しい能力は？ 時間がかかりますね。
- 10年後、・20年後の美幌町はどうなっているのでしょうか？
- 語り合う場を提案できればいいですね

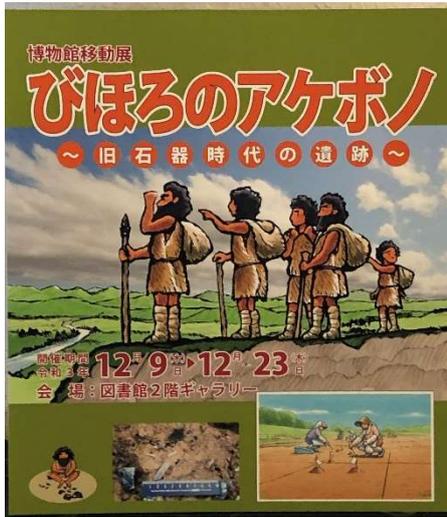


■今年も、コロナ禍で3つのきょういく応援団の方々に協働していただく機会は持てませんでした。子どもたちは、町内にある施設見学（図書館、商店街、駅、びほーる、農家）や、生活科や総合の時間での体験活動（田植え、買い物、稲刈り、脱穀、ホタテ学習、ウチダザリガニ駆除、植樹、枝打ちや除伐）講話や講座などでの体験ができたということでした。

■美幌町には、昔の人が苦勞して地域を作り上げてきた資料がたくさん残っています。図書館には、数多くの資料がありますし、博物館には、貴重な資料が保管してあります。近隣の市町村からも博物館に来て学習や体験を積んでいる実績があります。

近くには、みどりの村もあり、宿泊しながら学習することも可能です。

■今は、便利なパソコンで調べたり写真を見たりすることができますが、自分の体を使って感じ取ることのできる体験も、貴重な学習です。幼いころから練習を積んで身に付ける感覚は、大人になって得るものとはまた違うものです。そんな貴重な体験をする機会を作っていただいている地域の方々に感謝ですね。



博物館の展示が図書館で

～美幌のあけぼの～12/9～12/23

博物館で展示されていた”美幌のあけぼの”という展示が図書館の2階ギャラリーで開催されました。以前に博物館で公開展示されていましたが、12月9日から図書館で再展示されたものです。美幌町の”旧石器時代の遺跡”として豊岡、元町、みどりなどから出てきた石器が展示されていました。

美幌町には130か所を超える遺跡が見つかっています。石器の作り方なども紹介されていたので、小・中学生も関心が持てますね。



【旧石器時代の石器ブロック】網走川沿い 元町付近



*******地域の中でできる応援団として参加募集*******

応援団としての活動は、必ずしも学校に行って活動することだけではありません。自分の住んでいる地域の中で”子どもたちを見守り、””協働できる”ことに参加していただくことはいかがですか？

（例：① 暗くなるのが早くなる時期、部活の帰りに暗い道にならないように門灯などを消す時間を少し延ばすことに参加する。② 町内で生活しているときに危険（心配）だと思う場所や事例があったとき連絡をいただくなど）の参加者が増えると、地域の大人として、みんなで子どもたちを守る共通意識を持っていただけではないのでしょうか。まだまだコロナ感染にご注意され、良い新年をお迎えください。